

## 2023年度 ニチキッズ福島みなみ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～3月14日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月15日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、一つ一つの遊びや学びの過程を大切にし、感情を受け止め共感することで保育士との信頼関係を築く事ができた。保育計画の立案、保育の実践、評価・反省、改善を繰り返し話し合いをおこない、子ども一人ひとりの発達に応じた保育の援助に取り組むようにした。
子どもの発達援助	一人一人の発達を理解し日々話し合うことにより、子どもたちの発達や場面に合わせて個々を支えることができた。更に子どもたちの多様な感情を受け止め温かく受け入れ適切な対応をしていく事が重要である。
保護者に対する支援	新型コロナウイルス感染症がら類に移行し、行事等で保護者の方々と同時間を共有する時間が増えた。そのため直接子どもたちの成長を感じる事ができ、喜び合える時間を持つことができた。しかし日々の伝達や収集など細かい部分は難しい事もあったため、保護者の気持ちを受け止め相互の信頼関係を築いていくことが必要である。
保育を支える組織的基盤	外部研修・内部研修の充実や、保育士、栄養士の各専門の特性を生かした園内研修で「保育」や「食」に関わる知識や技術の向上に努めている。

総評
子ども一人ひとりの発達過程を理解した上で場面にあった対応をする事ができた。また各専門性を生かしながら保育内容を見直し子どもたちの育ちを支えることができた。今後は保護者と、子どもの育ちについて喜びを共有しながら子どもたちの心身の育ちに丁寧に関わりより安心して生活できる場を提供していきたい。